



宮崎県にお住まいの40代後半・女性からの相談です。

Q. 父親が倒れてしまい、不安が募っています

【相談対象】69歳(男性)の両親のことについての健康相談です。

先日、実家の父親が病気で倒れてしまい、介護の必要性が出てきました。

自宅から実家は遠く、子育てと仕事に追われていることもあり、頻繁に実家に行くことも出来ません。

夫は仕事が忙しく、あまり相談にのってくれませんし、兄弟も実家近くにいるのですが、あまり協力的ではありません。今後のことを考えると不安になってきます。どうしたらいいのでしょうか。

専門相談員からの回答です。

A. 親御さんがご病気で倒れてしまわれたとは、ご心配なことですね。実家に行くことが簡単ではなく、毎日の様子が把握できないと、不安も大きいと思います。

このようなとき、近くにいる人が様子を聞かせてくれたり、世話をしてくれたりすると、少し安心できる部分もあるでしょうが、実家近くのご兄弟があまり協力的でないのですよね。ご兄弟の方にも、実家に頻繁に行けないような、仕事・育児で忙しい等の何らかの事情がおりなのでしょう。その場合、親御さんの介護についてあなた様もご兄弟も限定的な関わり方となるのは避けられないことと思われま。

また、それを前提として今後のことを考えていく方が介護する側の物理的負担や心理的葛藤が大きくなりすぎず、ご家族の実情に合ったサポートを親御さんにしていけるのではないのでしょうか。

まずは、親御さんがお住まいの自治体で介護保険を担当している課へ問い合わせてみてください。要介護認定の申請ができます。その後、親御さんの希望する介護の方法を確認し、ご家族の希望も踏まえて話し合いをすることです。

自宅で介護をするのか、施設で介護をしていくのか、具体的な今後の方向性を考えましょう。意見がまとまらないようならば、施設入所・居宅介護のどちらの場合も、ケアプランを作成する専門家(ケアマネージャー)と相談しながら具体的な方法を決めることができます。

ご家族は愛情と責任感から負担を抱え込みがちですが、地域のサポート資源を活用することも、介護される側・する側の双方にとってメリットになる場合があります。

介護は家族だけで対応していくには限界があります。ご自身だけで辛い気持ちを抱え込まずに、地域のサポート機関に助けを求め、お気持ちの負担や不安を少しでも和らげられることをお勧めいたします。

本回答は株式会社保健同人社に所属するケアマネージャーが回答いたしました。